

モノと生きるために

机の上と挿入れを見ればその人の
今の心理状態が分かると言えます。
モノを捨て身の回りをシンプルにすると
感情もシンプルになっていくそうです。
モノがあふれる時代に
モノと一緒にどう生きるか?という
テーマで考える時間を持つことを
大切なことのようですね。ご

明石家さんまさんが…

人は歳をとると景色や花を見て感動できるようにならてくる。田舎の風景にも趣を感じることができ。若いときは興味もなかた梅の花も美しいと年々思えてくる。感覚も歳をとったのだろう。こ

(+) までも若々しくテンポよく話す 明石家さんまさん(63歳)。
先日、さんまさんのテレビを見ていた妻が、さんまさんは
感覚が歳をとらないように きれいな景色や花を見た
ときには感動し始める自分に「違う!! 様々!!」と
言い聞かせ続けてきたと言っていたそうです。
笑いの感覚がサビないように、さすがプロですね。

おじどうしたよ!

Vol. 160 2018.6月

(いつもありがとうございます)

作者：鳥越介順



「いらっしゃる保険をお選びましょうオフィス鳥越

大笑い

笑って元氣!元氣!

サラリーマン川柳

サラリーマンの本
第一生命さん ありがとうございます

妻からダメ出し

このニュースレターは書き上げると
先ず「妻に読んでもらう
先月号(5月)のときは
妻「あ~私には関係ない話やわ
同じように思う人は多いんじゃない?」
私「んーどうなんか
でも書きたがたことやしこれでいくわ」
といふやり取りでした。

田寺には
毒 「内容が難しすぎるわー」とか
「日本語になくてないよ」とのダメ
出しもあります。〃

中には妻「よく思いながら書いていたじ」とお褒めの言葉もある↑

